

牛道春秋

駐在妻の欄

▼白鳥町で四回目の冬、小学三年生になった長男はやっとスキー場デビューを果たしました。▼初回は、全くスキーが出来ない主人がチューブ先生の受け売りで偉そうに指導していましたが、全然滑れるようにはなりませんでした。▼長男は自分の将来を考え、このままスキーもまともに滑れない父親のような大人になるのはカッコ悪いと思ったらしく、スキー教室で、ちゃんとした指導を受けたいと訴えてきました。▼そこで、格安で受講できるスキー教室を探し出し参加させることにしました。▼すると長男は、ひるがの高原のベテラン指導員さんのおかげで、あっという間にへっぴり腰ながら滑れるようになりました。▼滑る楽しさを覚えた長男は毎週のように「スキー場に連れていけ。」と訴えてきて今では一人でリフトに乗っては奥美濃の冬を満喫しています。▼長男には白鳥にいる間に滑れるだけ滑って欲しいですが、主人には、そろそろ昇任試験を滑るのを止めてもらいたいと思います。



小学三年生